

soikuru

サイクル

SAIKURUとは

地域及び連携医療機関とのつながり(サークル、サイクル)を大事に、患者さんを中心とした医療を提供していきたいという意味を込めています。

放射線治療装置

「リニアック」導入

当院での**乳がん術後照射**を開始いたします。

当院では2007年より、IMRT(強度変調放射線治療)専用機であるトモセラピーを導入し、前立腺がんや緩和照射を中心とした放射線治療を行ってまいりました。2018年9月より、汎用機であるリニアックを導入し、乳がんなど対象疾患の拡大を行いました。

「リニアック」は、がんではない正常組織の被ばくを最小限に抑え、腫瘍部分に集中して放射線照射ができる医療機器です。手術の難しい患者さんの根治的な治療をリニアック単体で行うほか、手術前がん組織をある程度小さくする術前放射線治療、術後残った病変に対して行う術後放射線治療など、集学的治療の一環を担います。



リニアック導入のポイント

- これまで当院では行っていなかった「**乳がん**」の術後照射を開始します。
- 照射時間が短縮され、治療の負担が軽減されます(20~30分→10~20分/回)。
- 専用ルームを新設、「スカイシーリング」を県内初採用。リラックスした空間で治療が受けられます。

乳がん照射時のメリット

特に照射時の位置合わせが重要な乳がん放射線照射。従来はX線を用いてセットアップを行っていましたが、今回九州初導入となる「**Catalyst**」により、プロジェクションマッピングの技術を応用した位置特定を行うことで、被ばくゼロで体位の補正を行うことが可能となりました。

今回の導入機器と対象疾患

今回導入するVersa HD™は、エレクトリニアックの最高機種で、高い安全性のもと、1台で全身の様々ながんを治療できるよう設計された高精度放射線治療システムです。様々ながんの治療に対応出来るだけでなく、非常に正確な放射線照射が求められる複雑ながんの治療も可能です。



対象疾患

- 乳がん **NEW!**
- 肺がん
- 前立腺がん
- 消化器のがん
- 血液のがん

脳転移・骨転移など
緩和治療も行います

お知らせ

第1回 済生会熊本病院未来連携フォーラムを開催いたします

●第一部

- 18:00 | 開会挨拶～最先端のエビデンスユーザーを目指して～
中尾 浩一(院長)
- 18:05 | 連携部長からのご挨拶
当院の連携活動について
町田 二郎(副院長 兼 医療連携部長)
- 18:10 | TOPICS講演
低侵襲治療は次のステージへ～ハートチームによる弁膜症治療～
座長:上杉 英之(心臓血管外科部長)
演者:坂本 知浩(循環器内科部長)

●第二部 懇親会

- 18:40 乾杯
- 19:00 新規導入機器紹介
今後の取組み紹介
- 19:45 診療科部長紹介
- 20:30 閉会挨拶

【日 時】 2018年11月4日(日)18:00開始(17:30開場)

【場 所】 ホテル日航熊本 5階『阿蘇』(〒860-8536 熊本市中央区上通町2-1 TEL:096-211-1111)

お問い合わせ

地域医療連携室(担当:緒方・松岡)

TEL:096-351-8372 FAX:096-351-8505 MAIL:yoshitaka-matsuoka@saiseikaikumamoto.jp

ご案内状は、後日改めて送付させていただきます。